

伝統工芸品現代風に



展示されている県内の伝統工芸品を持つ中島重夫さん(左)と津延美衣さん＝東京都千代田区

関彰商事 都内にギャラリー

東京・丸の内の関彰商事東京オフィスに、伝統工芸品を現代風にアレンジした「クラフテリアート」のギャラリーがオープンした。改修されたオフィスの一部に、主に県内の工芸品約40点が展示されている。担い手不足などで伝統工芸品の継承が懸念される中、現代のニーズに合った作品を発信し、新たな魅力を探る狙いがある。

展示品は、笠間焼きや水府提灯(水戸市)、ひな人形の「桂雛」(城里町)、西ノ内和紙(常陸大宮市)など。鳥や酒瓶をかたどっ

たちょうちんをはじめ、一年を通じて飾りやすくしたひな人形など、インテリアで活用できる逸品がそろう。今後、異業種同士の職人によるコラボレーションの作品を増やし、オリジナル作品も展開していく。

クラフテリアートは同社が提唱した造語で、「クラフト・インテリア・アート」の略語。工芸品が日用品だけでなく、インテリアとしても利用されてきた側面に着目し、アートとして捉えようという考えだ。

企画を担当する同社シニアアドバイザーの中島重夫さんは「既存の価値を生かしつつ、新しさを組み合わせたい。クラフテリアートを新築祝いなどお祝い品にも使ってもらえるようにしたい」と展望を語った。また、キュレーター津延美衣さんも「伝統と革新を融合させる作品を国内外に紹

介し、作り手と売り手、買い手が喜ぶようにさせた」と意欲を示した。

入場無料。観覧は要予約。問い合わせは同社東京オフィス ☎03(6256)0369。(斉藤明成)